

資料7 中井町まちづくり町民アンケート

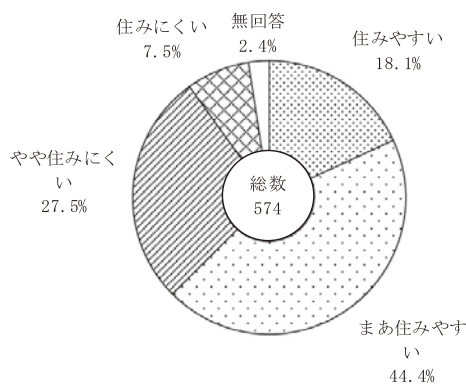
■実施概要

- 調査期間：平成 27 年 5 月 25 日～6 月 8 日
- 調査対象：中井町在住の18歳以上の男女1,400人（住民基本台帳による無作為抽出）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 回 収 数：574（回収率 41.0％）
- 注 意 事 項：集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、数値の合計が 100.0％にならない場合があります。
また、回答の比率（％）は、その質問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問ではすべての選択肢の比率を合計すると 100.0％を超える場合があります。

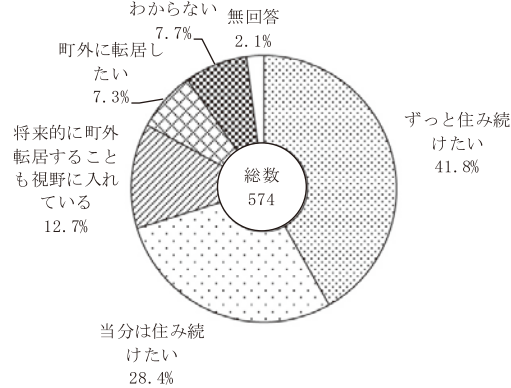
■調査結果

1 住みやすさ・定住意向について

（1）住みやすさ



（2）定住意向



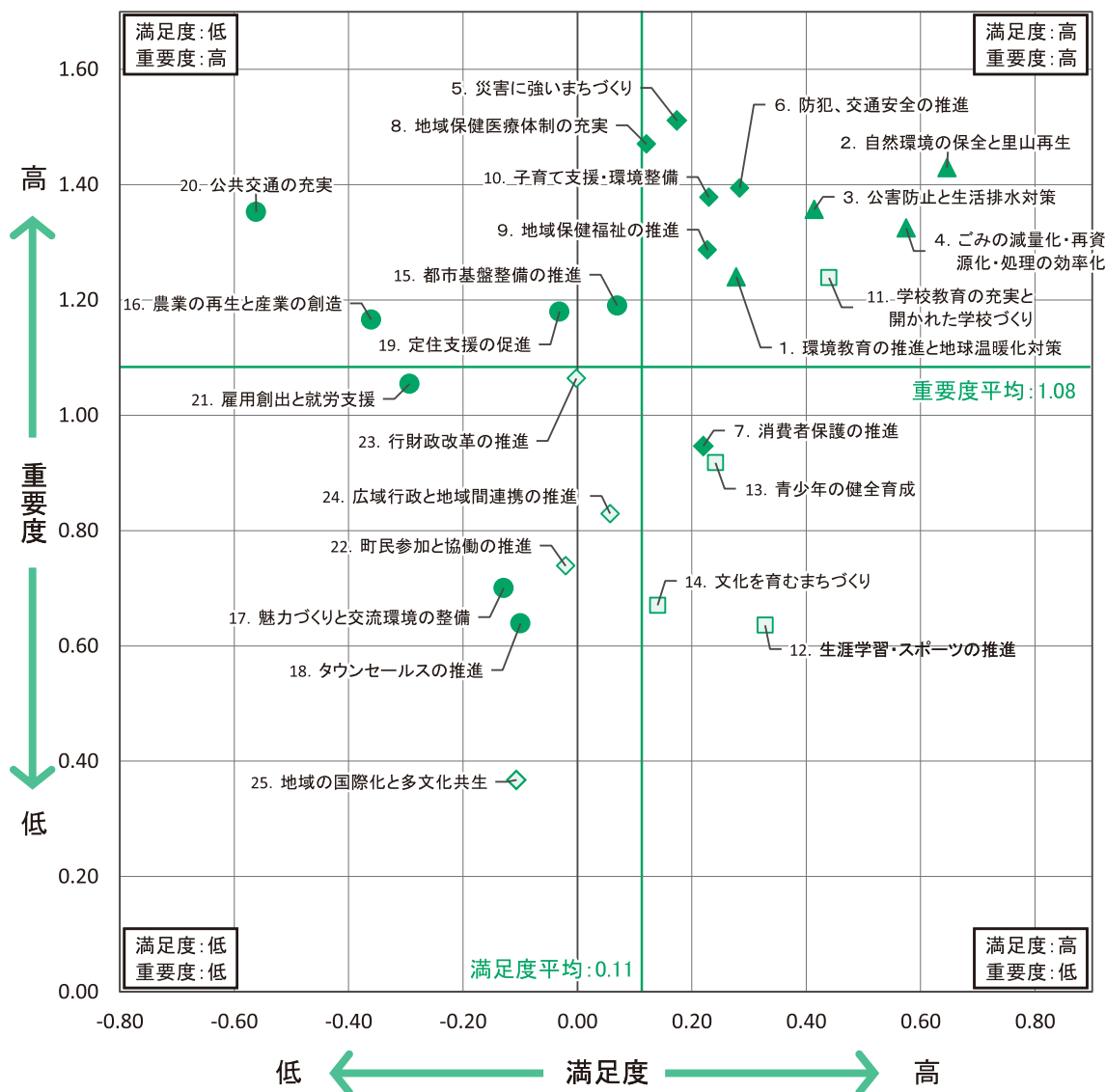
- 住みやすさについては、「まあ住みやすい」と「住みやすい」の合計が6割を超えており、多くの町民は住みやすいと感じています。
- 今後の居住意向については、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計が7割となっています。一方、「将来的に町外転居することも視野に入れている」と「町外に転居したい」の合計は2割となっています。

■住み続けたい理由と町外に転居したい理由【上位5位】

住み続けたい理由（総数＝403）【上位5位】		町外に転居したい理由（総数＝115）【上位5位】	
自分の家（土地）があるから	79.4%	交通が不便だから	73.0%
町の自然や景観が好きだから	41.9%	日常生活（買い物など）がしやすいから	67.8%
自分が育ったところだから	35.0%	仕事や学校の関係で	25.2%
人間関係や人情味があるから	19.1%	他の土地に住んでみたいから	22.6%
災害や犯罪が少ないから	18.1%	地域に愛着や魅力がないから	19.1%

2 町の施策の重要度・満足度

現状の施策の重要度と満足度



■グラフの見方

町で実施している主要施策 25 施策について、「満足 (重要)」=2 点、「やや満足 (やや重要)」=1 点、「やや不満 (あまり重要でない)」=-1 点、「不満 (重要ではない)」=-2 点として加重平均して得点化し、満足度と重要度の平均の位置 (0.11、1.08) を原点としてグラフ化しています。

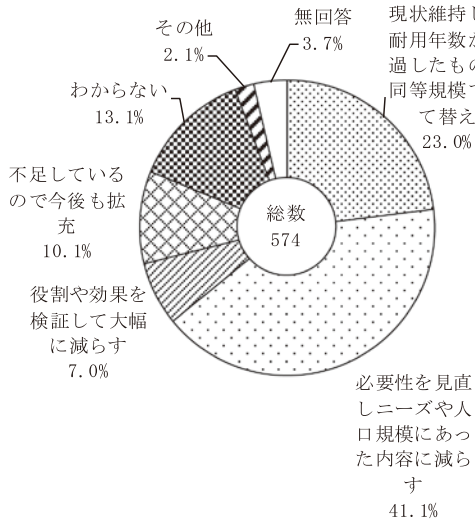
各施策の位置によって以下のように評価することができます。

- 右上 (満足度: 高、重要度: 高) = 現状維持が求められる施策
- 左上 (満足度: 低、重要度: 高) = 重点的な実施が求められる施策
- 右下 (満足度: 高、重要度: 低) = サービス水準の見直しの必要性がある施策
- 左下 (満足度: 低、重要度: 低) = 施策のあり方等の見直しの必要性がある施策

- 重点的な実施が求められる満足度が低く、重要度が高い施策は、「4にぎわいと活力のあるまち」の分野で多くっており、この分野の施策は全般に満足度が低くなっています。
- 一方、満足度が高いのは「1環境と共生するまち」の分野の施策で、重要度も高いことから維持していくことが求められます。

3 公共施設のあり方について

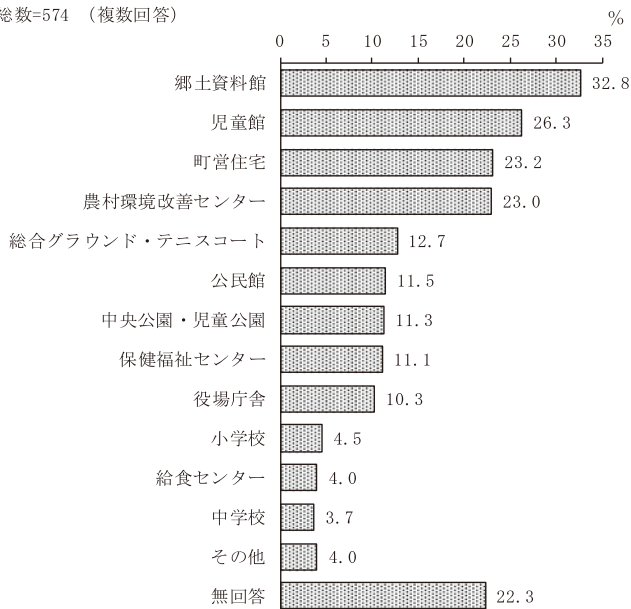
(1) 今後の公共施設の整備・維持について



○今後の公共施設の整備・維持については、「必要性を見直しニーズや人口規模にあった内容に減らす」(41.1%)の比率が最も高く、次いで「現状維持し、耐用年数が経過したものは同等規模で建て替え」(23.0%)の比率が高くなっています。一方、「不足しているため今後も拡充」(10.1%)の比率は低く、見直しや現状維持を求める意見が多くなっています。

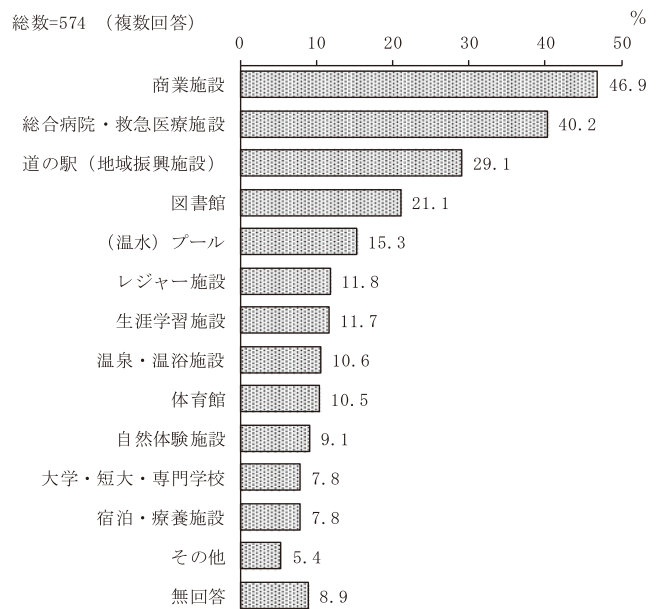
(2) 今後、整理・統合を考える必要がある公共施設

総数=574 (複数回答)



(3) 今後必要と思う施設

総数=574 (複数回答)

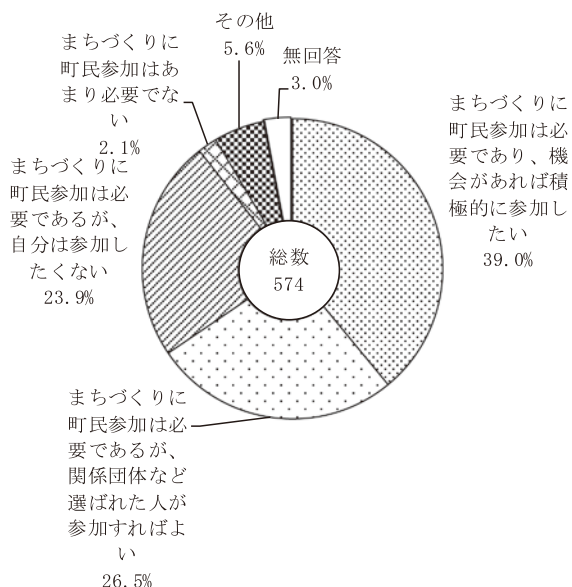


○整理・統合を検討すべき公共施設については、「郷土資料館」(32.8%)の比率が最も高く、次いで「児童館」(26.3%)、「町営住宅」(23.2%)、「農村環境改善センター」(23.0%)の比率が高くなっています。

○今後必要と思う施設については、「商業施設」(46.9%)の比率が最も高く、次いで「総合病院・救急医療施設」(40.2%)の比率が高く、買い物や医療など日常生活に関する施設が求められています。また、「道の駅(地域振興施設)」(29.1%)、「図書館」(21.1%)の比率も高くなっています。

4 まちづくり活動（町民参加）について

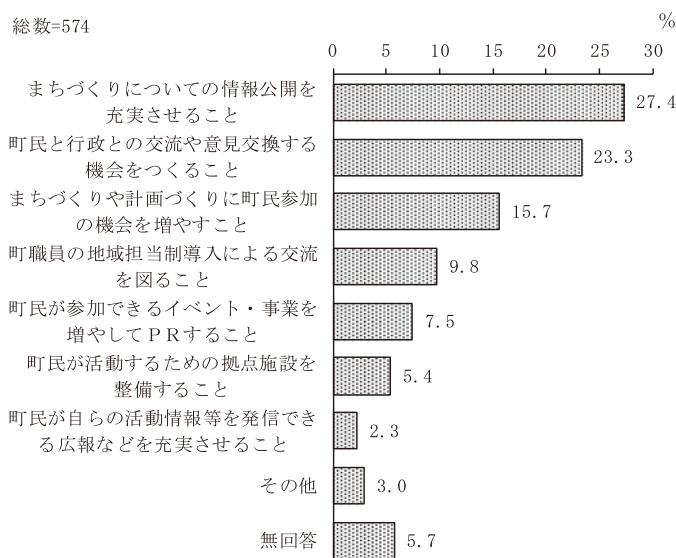
（１）まちづくり活動への参加意向



○まちづくり活動への参加意向については、「まちづくりに町民参加は必要であり、機会があれば積極的に参加したい」（39.0%）の比率が最も高くなっています。

○一方、「まちづくりに町民参加は必要であるが関係団体など選ばれた人が参加すればよい」（26.5%）や「まちづくりに町民参加は必要であるが自分は参加したくない」（23.9%）の比率も高く、半数以上の町民は主体的な参加を望んでいません。

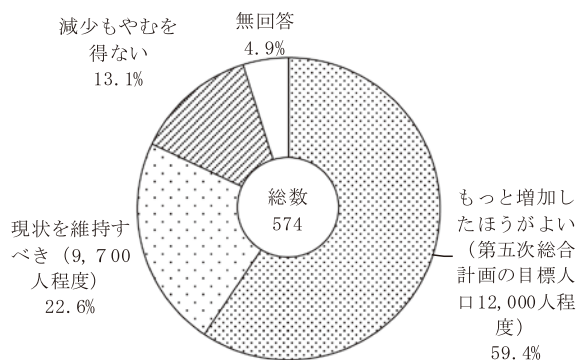
（２）町民と行政が協働でまちづくりを行う上で、必要だと思うこと



○町民と行政が協働でまちづくりを行ううえで必要だと思うことについては、「まちづくりについての情報公開を充実させること」（27.4%）、「町民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」（23.3%）、「まちづくりや計画づくりに町民参加の機会を増やすこと」（15.7%）などの比率が高く、情報公開とともに町民参加や交流、意見交換の機会などが求められています。

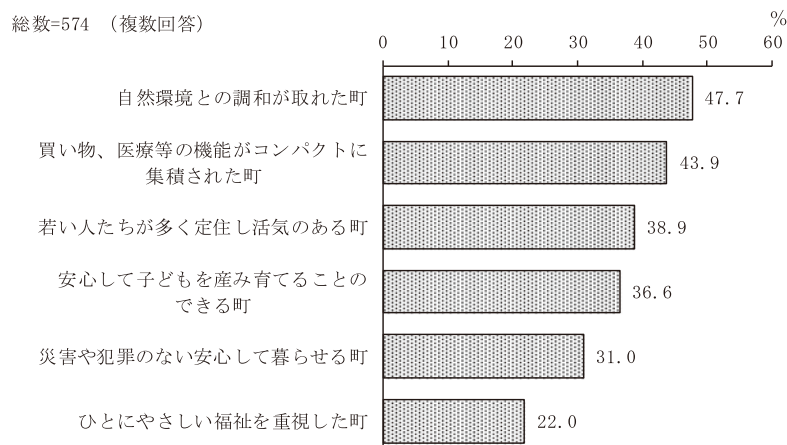
5 まちの将来像について

(1) 適切な将来人口規模



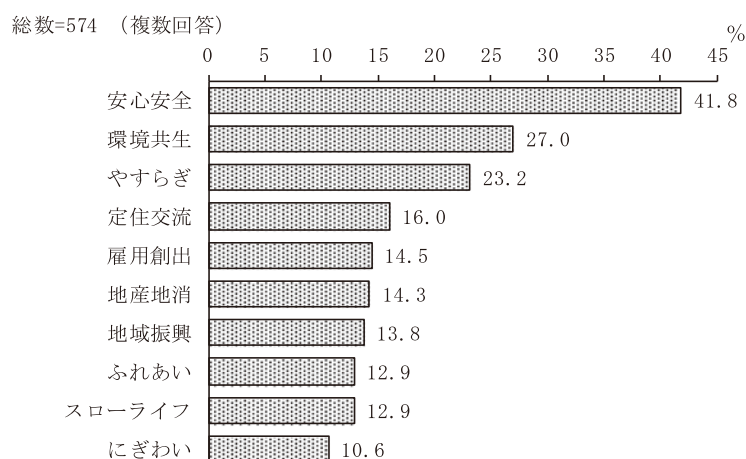
○適切な将来人口規模については、「もっと増加したほうがよい (第五次総合計画の目標人口 12,000 人程度)」(59.4%) の比率が約6割と、人口増加を望む声が多くなっています。

(2) 将来の望ましい町のイメージ【20%以上】



○将来の望ましい町のイメージについては、「自然環境との調和が取れた町」(47.7%)、「買い物、医療等の機能がコンパクトに集積された町」(43.9%)、「若い人たちが多く定住し活気のある町」(38.9%)、「安心して子どもを産み育てることのできる町」(36.6%)、「災害や犯罪のない安心して暮らせる町」(31.0%) など、多岐にわたっています。

(3) 町が目指すべき将来像のキーワード【10%以上】

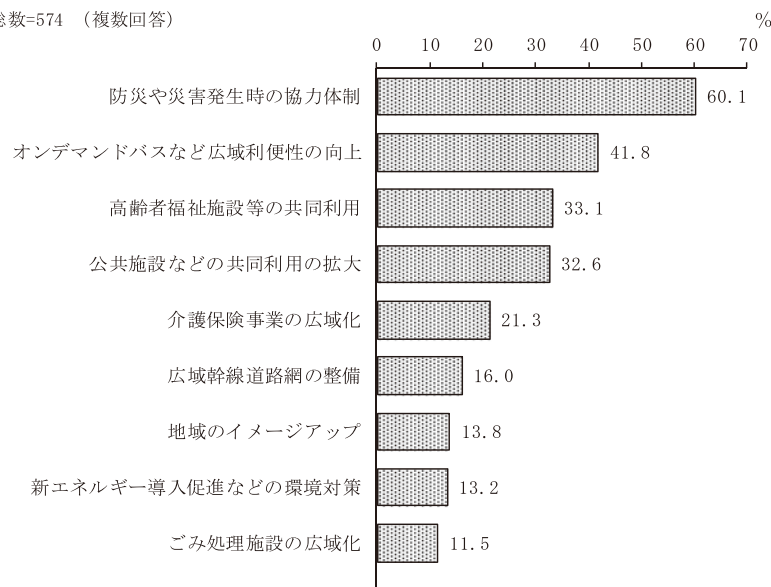


○町が目指すべき将来像のキーワードについては、「安心安全」(41.8%)、「環境共生」(27.0%)、「やすらぎ」(23.2%) などの比率が高くなっており、安心安全や地域の生活環境、地域の活性化に関するキーワードが多くなっています。

6 地方創生について

(1) 必要と思う周辺市町との連携した取組について【10%以上】

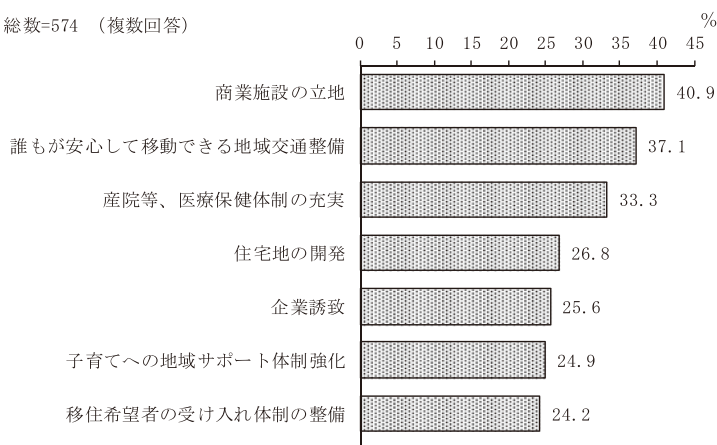
総数=574 (複数回答)



○周辺市町と連携した取組として必要なのは、「防災や災害発生時の協力体制」(60.1%)、「オンデマンドバスなど広域利便性の向上」(41.8%)、「高齢者福祉施設等の共同利用」(33.1%)、「公共施設などの共同利用の拡大」(32.6%)の比率が高く、町民の日常生活圏の広域化等により、多岐にわたる広域連携の必要性が認識されています。

(2) 定住人口と交流人口の増加のために必要と思う取組について【20%以上】

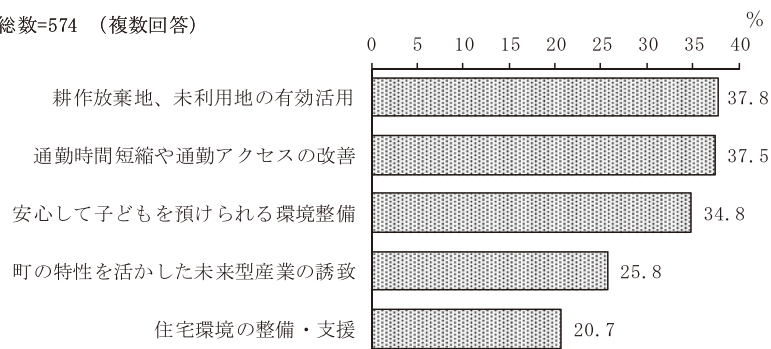
総数=574 (複数回答)



○定住人口・交流人口増加のために今後力を入れるべきこととしては、「商業施設の立地」(40.9%)、「誰もが安心して移動できる地域交通整備」(37.1%)、「産院等、医療保健体制の充実」(33.3%)などの比率が高く、買い物の場や公共交通、医療機関の充実などが求められています。

(3) 仕事の創出と安心して働ける環境づくりのために必要と思う取組について【20%以上】

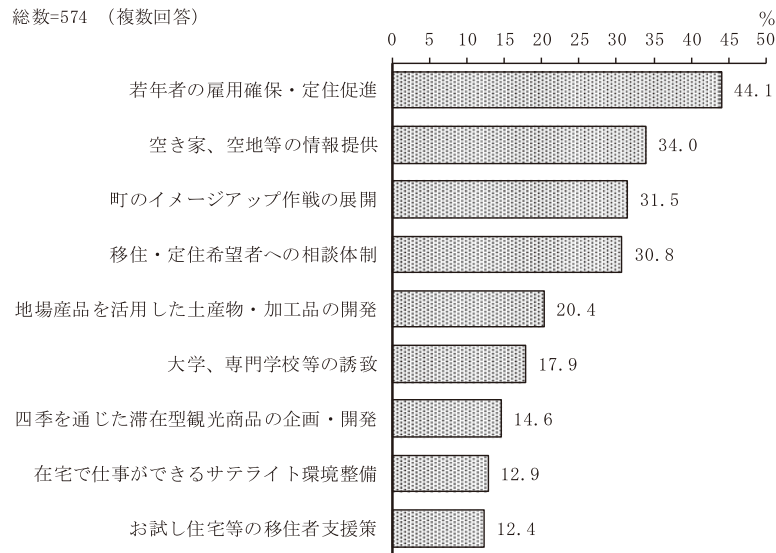
総数=574 (複数回答)



○町に仕事をつくり、安心して働ける環境をつくるために進める取組については、「耕作放棄地、未利用地の有効活用」(37.8%)、「通勤時間短縮や通勤アクセスの改善」(37.5%)、「安心して子どもを預けられる環境整備」(34.8%)、などの比率が高くなっており、空き地有効活用や通勤のしやすさの向上、女性が働きやすい環境づくりなどが求められています。

（４）町に人を呼び込むために必要と思う取組について【10%以上】

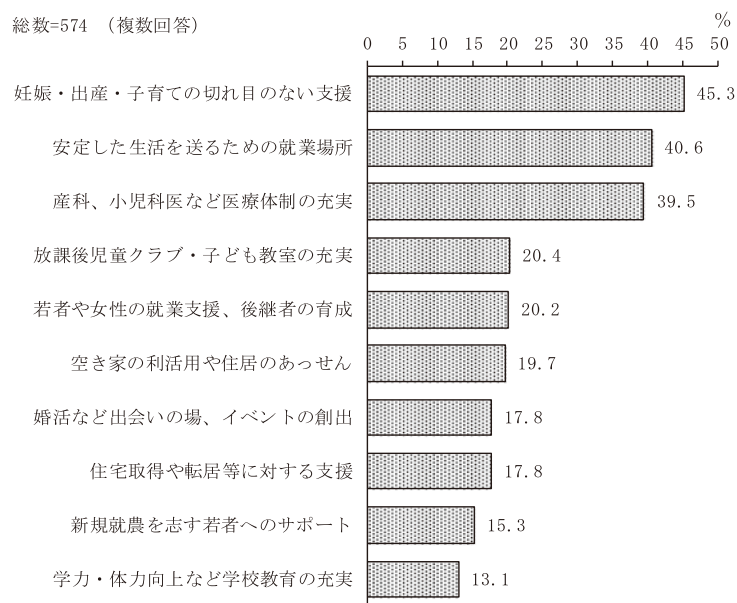
総数=574 （複数回答）



○町に人を呼びこむために進める取組については、「若年者の雇用確保・定住促進」（44.1%）、「空き家、空地等の情報提供」（34.0%）、「町のイメージアップ作戦の展開」（31.5%）、「移住・定住希望者への相談体制」（30.8%）の比率が高くなっており、空き家、空き地の情報提供や移住・定住希望者への相談体制など、定住を希望する人への直接的な支援に関する取組の比率が高くなっています。

（５）結婚・出産・子育てを促進するために必要と思う取組について【10%以上】

総数=574 （複数回答）



○町で若い人たちが結婚し、出産して、子育てをしやすくするために進めるべき取組については、「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援」（45.3%）、「安定した生活を送るための就業場所」（40.6%）、「産科、小児科医など医療体制の充実」（39.5%）の比率が4割前後と高くなっています。

第六次中井町総合計画

発 行 中井町

神奈川県足柄上郡中井町比奈窪 56

平成 28 年 12 月

編 集 中井町企画課

U R L www.town.nakai.kanagawa.jp/

協 力 (株)地域計画建築研究所



かながわ
中井町

細^ひ都^とまち ♥ なか井